

竹 ノ 花



魚骨工造

成年向



なあオヤジ

どうしてこの竹を全部
切らなきゃならないんだ？

せっかく育てたのにさ



お前

竹の花が咲くのを見るのは
初めてか？

こいつは
「不吉」なんだぜ

不吉？

長年かけて
花を咲かせたはいいが

いっせいに
枯れちまいやがる



お互い傷つくだけだぜ



お前と家主様の仲が
良いのは分かるが

身の程をわきまえとけよ

あとはな

それ





花が咲けば、
あとは死ぬだけ

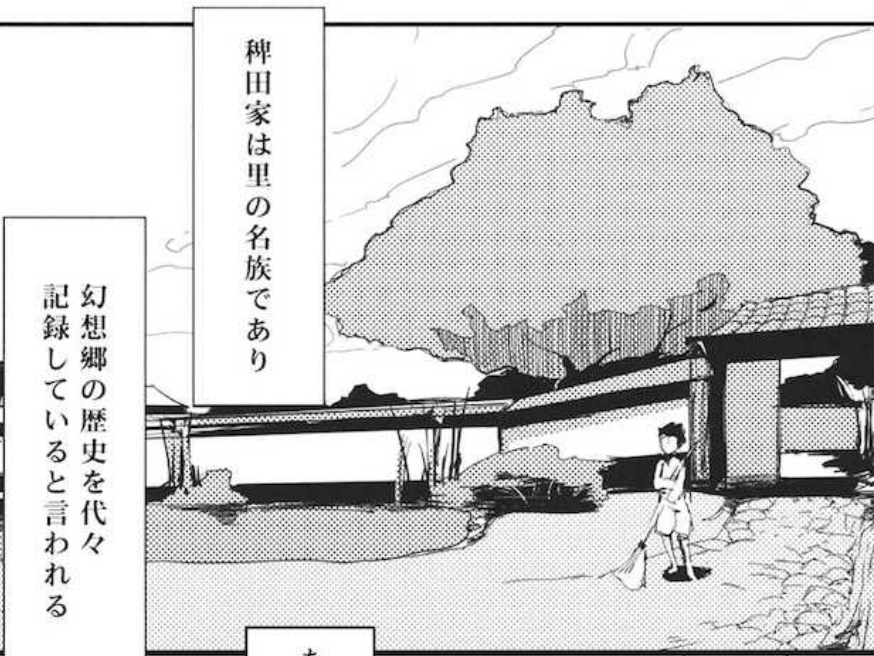


稗田家の女も

それと同じ



稗田阿七



稗田家は里の名族であり

幻想郷の歴史を代々
記録していると言われる



毎年、
俺みたいな小間使いを
雇い入れるのだ

ないよ

家主様を見かけた？

さあ



ただ奉公人は一人も置かず

家主様がまたどこぞへ
行かれたようだ

お前ちょっと
探ってきてくれ

おう



おい

皆探しているぞ



そこは、
彼女と俺しか知らないところ



また

あそこかな…

見つかっちゃったわね

もう

下で見張っててくれる？

すぐ降りるから

心配しないで？
これぐらい平気よ

どうやって登ったかの方が
気になる

お庭から出ずに
この里の景色が
見られるのはここだけ

靴、
降りるわよ？

え？

皆が一生懸命働いている

風も気持ちいい

待て！
待て！
私も降りるわよ
受けとめてね？





うふふ

さっきお尻
触ったでしょ？

触るか！



うわあ

よーしょ



おい、
不吉な話はやめろよ

それでもないよ？

私はね
死なんて恐れてないの

この体はもう

駄目になる



恐らくね

これからもうこの木には
登れなくなる

なんで？



私は

この幻想郷の歴史を
記録するためだけに
生まれてきた

死んでも
記憶はそのまま継承される

転生は
古い体を捨てるだけの話

私にとって

転生とか
よくわからないけど

今のお前はまだ
生きているじゃないか

だったら
そのまま生きて行けよ



そうね



...

本当にありがとう



いろいろ



あのね





うえええ

うえ

はあ

はあ



いつの日か

俺はたくさん金を儲けて
大きい畑を買って

これより大きな屋敷も建てて

そして
お前を嫁にするんだ



私いきたい

なにしてるのよ...



おお、
いつものところで？

今日も呑み行くぞ

坊やも行くか？

俺はいい！

20歳にもなっていないのに



お気をつけくださいませ

家主様



ちょっと待って！

あなたが
思っているような...

家主様！





もう

もういいんだ

これでいいよ

転生したら!
絶対!

絶対!

お願い話を聞いて!

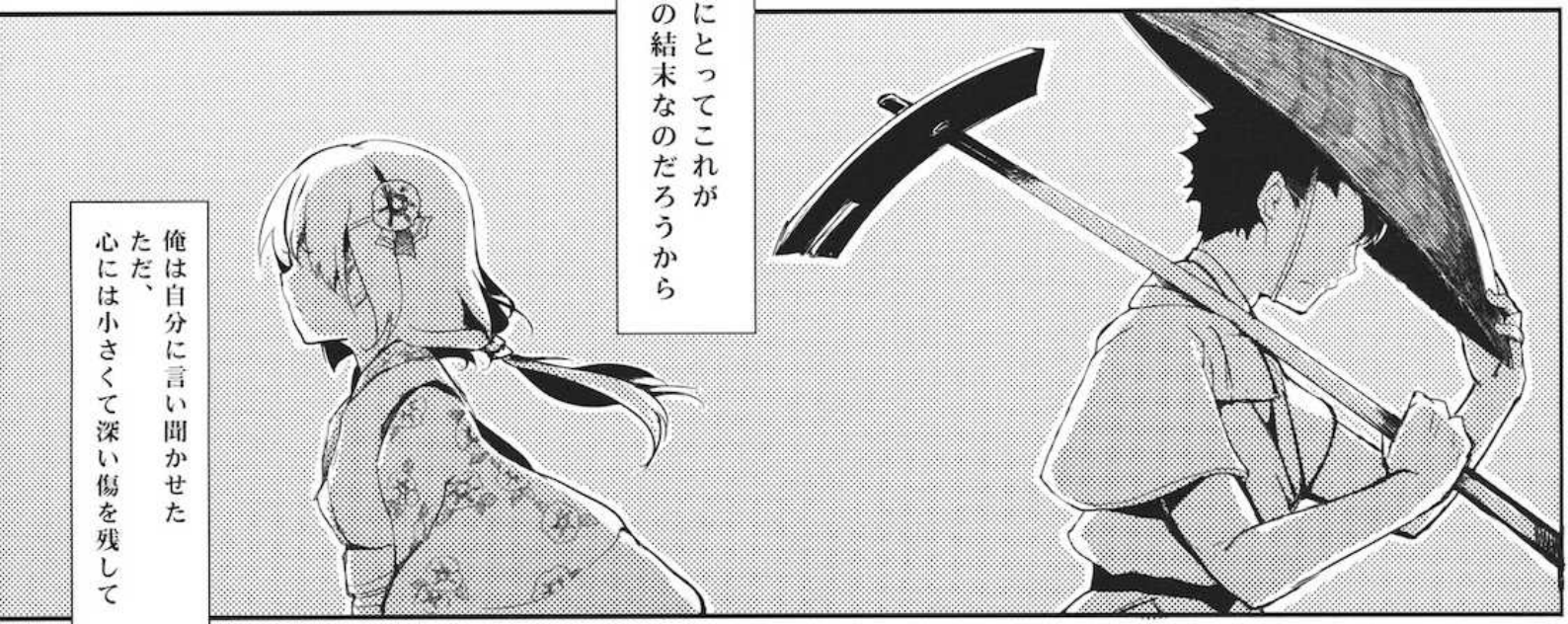
待ってください!



お前に相應しい
幸せが見つかったんだよ

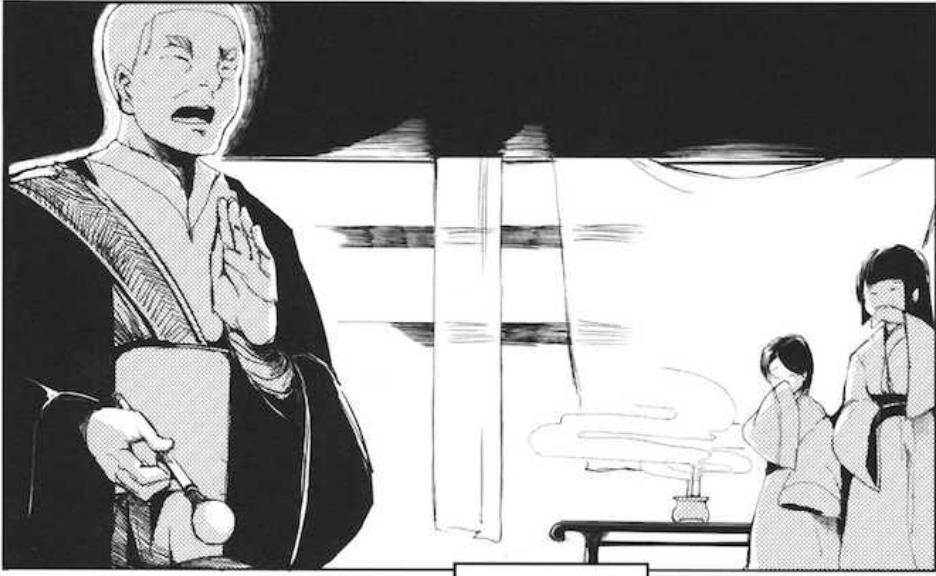
いや

羨ましいぜ



彼女にとってこれが
最善の結末なのだろうから

俺は自分に言い聞かせた
ただ、
心には小さくて深い傷を残して



癒されない
消えない傷痕がいつまでも疼く



稗田阿弥





仕上がるぜー
親方ー！

ほっちりだぜ！

おう
終わったらさっさと
帰りやがれ

今夜は
冷えるぜえ！



おらガキ共！
危ないだろッ！



物が色褪せるには足らずとも
人が変わるには過分な歳月だ



十数年が経っていた



おう
一服してからな

親方
帰らないの？

見つけた!!!



てめえらー！
早く帰れ！

子守りをやらなきゃなんねーからな

親方も大変だー！

ねえねえ

ねえってば

あたしはもう大人だから

はいはい

もう結婚した？

あたしを
嫁にしてくれる？

...



わわわ



んもう！

人の話を聞いて！



来て来てー

このガキ

捕まえたら
かえるよー



返せよ
やだ

いやだ



ほら

ほら

この子は

今の家主様



あーあ
疲れちゃた

んもう女の子に
乱暴しちゃってさ

顔が変になって

嫁にいけなくなったら
どうするの！



うわあああ

痛い
痛い

らめれ

がえうお
がえうお



でもね

もう一度あなたと出会えて

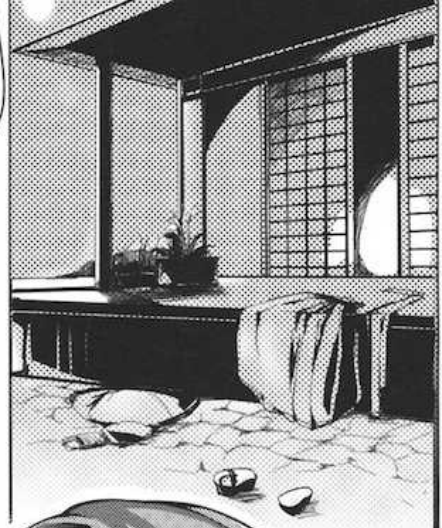
よかった





今の私はね

あなたと出会う為に
生まれてきたの



いきなり全裸に

剥かれちゃうなんて



恥ずかしいよう



扉が閉まってないけど

大丈夫?

そのまま

扉を閉めに行く気か



いやだよ

見られても平気だもん



緊張してる?



バカ...

ぞく

ぞく

ぞく

おっぱいの大きい子は

嫌なの?



あなた
可愛いね



うーうんー

ちゅば
ちゅば



食べないから

そんなに
硬くしないでよ

ゆっくりして



記憶
消える

忘れる!!

やめろって!

出て
こない!!

痛い!

やめろ!



子犬みたいな声を
出しやがって

さっきから



お
お前こそ!



んもう...

早くしないと

夜が明けちゃう

まだまだ

ねる



おいおい無理するな

止めるよ



うあん...

う...

ああ!



やっぱりちよっと...

ん...

あん...



やだ!

...

ただ



私ね
ずっと昔からこの体を

もみ

もみ



あたし嬉しいの

私のすべてを

愛してる人に
捧げるつもりだったんだから

うん
感じるよう

大きくて熱いモノが
あたしを貫いて

あたしを貫いて
暴れてる

あん
♡

う
うあん



このまま

このままじゃ

初めてなのに
乱暴にされて

気持ちいいなんて
♡



え？

なにやって…

ぐんぐん



もう
もうひやめええ

さ

あん

じゅ
じゅ

イッちゃうから
この感じ



ハ
♡

あなたの子種を
一滴も余さず
あたしの子宮に

赤ちゃんを孕ませて

お願い!



おい
そろそろ俺…!

いいよ
全部出して

そして

ハ
♡



この
エロガキか…

まだちょっと
欲しいだもん!

え？
え…

あ
♡

ねえ
もう一度しよ

溢れてるよ

こんなに
いっばい出して

ハア

いっく!!

いっく!!

いっく!!

いっく!!

いっく

あ

あん

いっく!!



芋？

毎日こんな
なの食べてるの？

どうした？

焼けたら食えるぞ

おいしいよ

これじゃないってば

あなたって人は



そういえばさあ

大きい畑を買って、
あたしを嫁にしてくれるって
言ってたよね

もうすぐ…

なんとかするさ…

言ってみただけよ

あなたと一緒になら

どんな生活だって平気よ

おいしい？

甘い！

顔にってるわよ

や、やめろ

んじゃ

焼き芋食べてくれ
新生活の前祝いだ

熱いよ

おう！
いただきます！



こんなに
急に幸せになっちゃって

実感が全くわかないくらい



お
おいおい！

みんな見てるだろ！



親方！

熱いなー！

おめでたもすぐかもな！

まさか

あの親方が家主様とねえ

貫禄だな！

あははは：



行かないや…だめ？



雨のせいで服が壊れたみたい

ああ

里の男たちは
行かないやいけない

恐らく

何ヶ月もかかるな



親方だから
しょうがないよ



荷物はどういい?

じゃ行くよ

ちゃんと女房と子供にも挨拶したか?

戦争じゃあるまいし

待ってー!

待ってよー!

おい!

おう

ぽろ



大雨だつてのに

ご飯ちゃんと食べて

汚い水飲まないで

寒くなったら服を着て

お酒飲まないで

他の女を見ないで!

あと

ぽろ

ぽろ



早く帰ってきて...

どうして
こんなとこまで:
靴は?

薬!
この薬を持ってて!

あと、
あとね
ゆっくり喋れ

うん



どうしよう

靴が

見つからない

あ...
行っちゃた

ガッ

体が重い



ただ彼を
愛しているだけなの！
うわああああ



どうしよう

あたしはただ



あれ

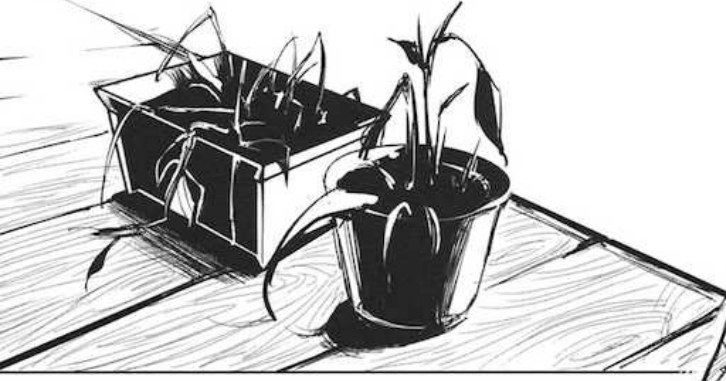
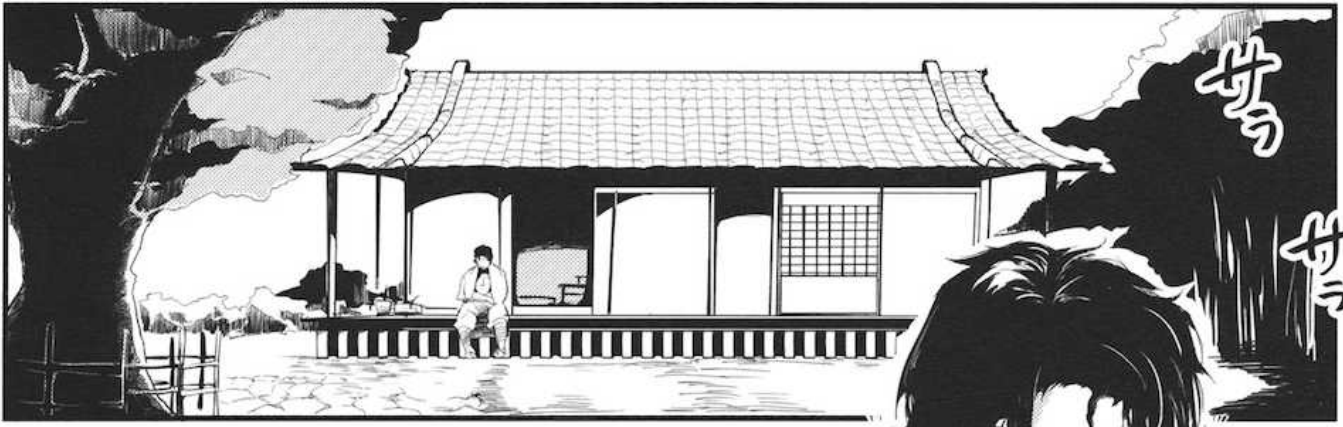
阿七
どうしよう

あたしはただ
彼と一緒に生きたい

一緒に
おじさんおばさんになって

一緒にいたいだけ





赤ちゃん寝た？

うん、
さつき

静かに

すぐ寒くなるのに

親方に：
どう言えはいい！

飲まず食わずで
座り込んだまま

三日だよ

もう言ったよ！
返事もしない

家主様の最後を
見なかったからだよね！

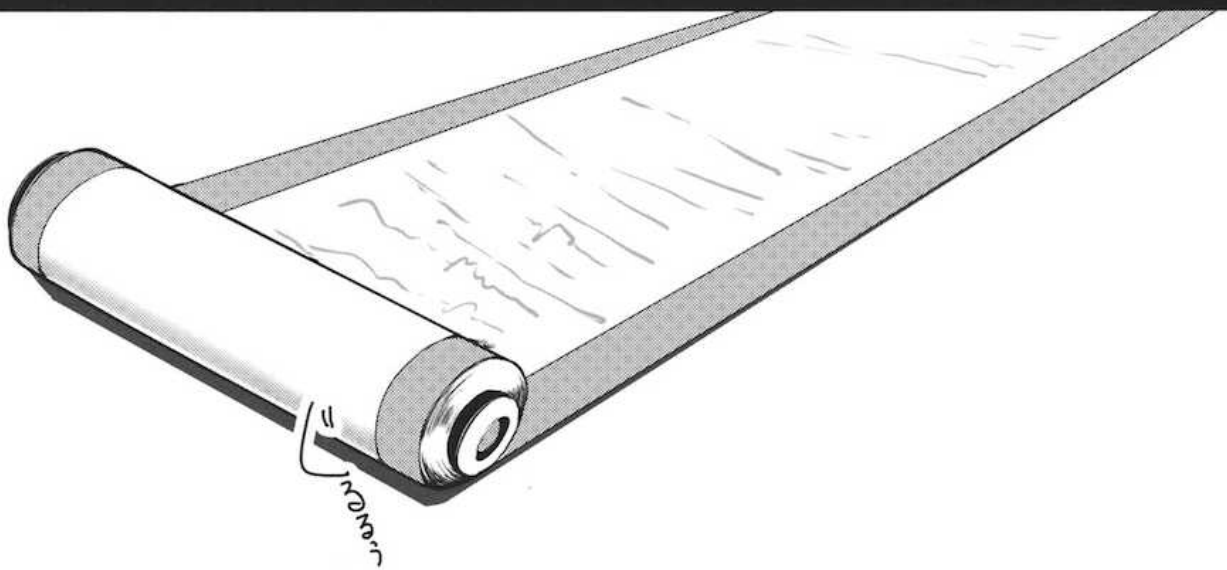


お前って奴は

どうしてこんなに
わがままなんだ

転生なんて勝手をぬかして
あつという間に離れてく

俺には
お前を待つ時間なんて無いんだよ



稗田阿求







俺はただ運ぶだけでさ



いや
礼なら親方に
言ってくださいよ



お疲れ様でした

どうも
新米と野菜です

いつも世話になっております



やっと

見つけた



やっと







ここは・・・



一人の女は

俺が愛した女

もう一人の女は
俺を愛した女

ここにはな

二人の女が眠っている



ごめんなさい



お前の

せいじゃない

すべては...その巻物の...

そうじゃない



一人あなただけを
待たせてしまって

私は何度でも転生して
償います



感情

記憶

大切な思い出



俺は見た

その巻物に
書かれた全てを

限りある
命ゆえに叶わぬ願い

喜びも
悲しみも



最初から

転生なんて…ない



その巻物は

俺たちの
債務帳に過ぎない

ごめんなさい

たくさんのことを
あなたと話したい

ごめんなさい

先代の願いに

やっと気づいたわ

それはあたし自身の気持ち

せめてそれだけは

信じてください



私の末裔よ
私の代わりに

あの人を愛してあげて



早く気づけば…

もうちょっと早く…

俺って…
とんでもないバカだな…



なんとしても…

でも…これは…
これじゃ、
悲しすぎるよ…



彼女たちに

責めないでやってくれ

だが、
お前にはお前の人生がある

あの女たちのように
なって欲しくない



あいつらは

初めから
俺に借りなんて無かった

私は何のために

生まれてきたっていうの？



私はあなたに
償わなければ…

ねえ

それじゃ



愛は貸し借りではない

なにより既に

俺は彼女たちの
一番大事なものを

受け取っている



バカ娘

この世は

愛情だけじゃないんだぞ



雪が降る

帰ろう

え？

どうして...

おふってやろう

下駄じゃ埋もれる



おわり





後書き

お久しぶりです。カポです。
また実用性がない本出してしまっていて申し訳ございません。
今回はじっくりストーリーから考えて、Brautkleidの時よりも悩みました。
うん、頑張りました。
元々「自分らしく自分のために生きて行く」をテーマにして
「短命乙女」の物語をやりたかったんですが
いつのまにか世代間の宿命を超えて、
最後に倫理臭を漂わせるというラブ・ストーリーとなりました。
世代の宿願を背負わされ、愛情の債務に縛られる人生。
なのに最後は「自分の本心から相手を好きなる」。
そんな火山爆発みたいな恋慕の物語は描いているだけでも辛かったです。
そして、八代阿弥の設定は私の一番のお気に入りとなりました。
みなさまにも気に入って頂ければ幸いです。

ヒゲ親父を描くのがだんだん好きになってきた。微妙。

それではまた。

カポ



奥付

原作：上海アリス幻楽団

発行：魚骨工造

発行日：2012.12.30

発行人：カボ 魚干

連絡先：Fishboneworkshop@gmail.com

HP：www.fishboneworkshop.net

Pixiv：21202

印刷：ねこのしっぽ様

Special Thanks：うがや

18歳未満の購入、閲覧禁止

無断転載、複製、アップロード禁止